

社会資本総合整備計画書
社会資本整備総合交付金
(山形県大江町)

平成29年3月22日

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

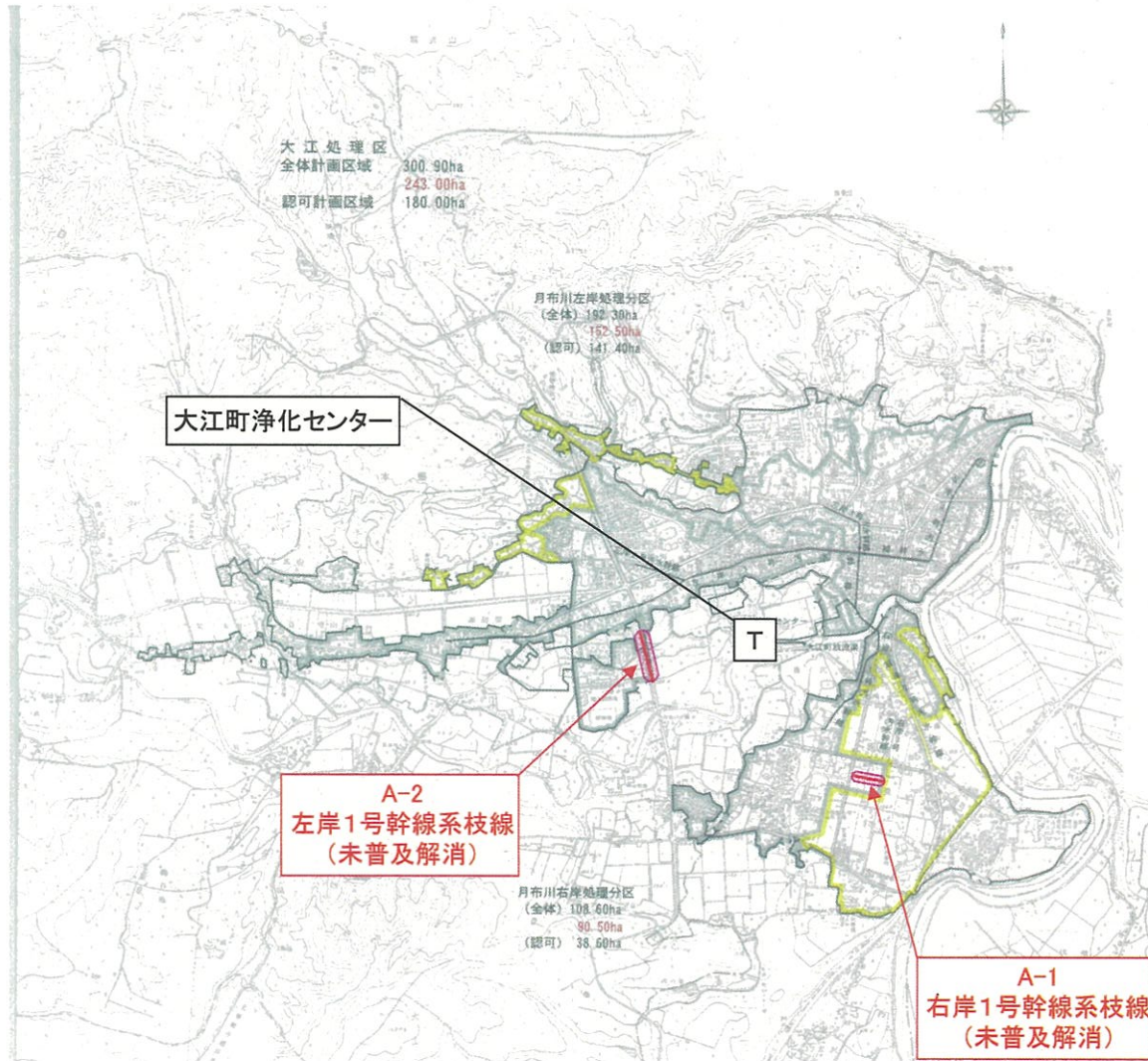
平成29年3月22日

計画の名称	大江町における循環の道の実現						重点配分対象の該当												
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)		交付対象	大江町															
計画の目標	下水道事業を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																		
計画の成果目標 (定量的指標)	下水道事業の早期概成を目指す (下水道が利用可能な区域の割合を91% (H28当初) から100% (H31末) に増加させる)。																		
定量的指標の定義及び算定式	下水道が利用可能な区域の割合 (%) 下水道処理区域面積 (ha) / 公共下水道 (汚水) 事業計画区域の面積 (ha)						備考												
定量的指標の現況値及び目標値	当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)					備考											
	91%	-	100%																
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	76百万円	A	76百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%							
交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
											H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	下水道	過疎	大江町	直接	-	汚水	新設	右岸1号幹線系枝線 (未普及対策)	φ150mm L=0.3km	大江町						14.0		-	
A-2	下水道	過疎	大江町	直接	-	汚水	新設	左岸1号幹線系枝線 (未普及対策)	φ150mm L=0.5km	大江町						62.0		-	
合計																76.0			
B 関連社会資本整備事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33						
合計																0			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
									H29	H30	H31	H32	H33						
合計																0.0			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業 (該当なし)																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考				
									H29	H30	H31	H32	H33						
合計																			
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考		

(参考図面) 社会資本整備総合交付金

計画の名称	大江町における循環の道の実現		
計画の期間	平成29年度 ~ 平成31年度 (3年間)	交付対象	大江町

大江町処理区計画図



凡 例	
	下水道法による事業計画区域 (整備予定区域)
	事業計画から除外した区域
	既設幹線
	処理場
	幹線及び枝線整備 (新設)
	枝線整備 (新設)

整備予定箇所の色分け	
	新設 (赤)
	増設 (青)
	改築 (緑)

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：大江町における循環の道の実現

事業主体名：山形県大江町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
II. 整備計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
②指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
③目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
④十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 整備計画の実現可能性	
①事業の具体性など事業の熟度が高い。	○
②事業の実施について、住民等の間で合意形成が行われている。	○
③計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	○